

Bee8Plus

操作マニュアル

Rev. 1.0

目 次

使用上のご注意	1
外観	1
1. はじめに	3
2. ブラウザによる操作	
2-1. ログイン	3
2-2. LiveとVOD	4
2-3. 基本操作と設定	5
2-3-1. Operation → Operating	
2-3-2. Operation → Audio Setting	
2-3-3. Operation → Video Setting	
2-3-4. Operation → Video Effect	
2-3-5. Operation → Logo/Title	
2-3-6. Operation → Camera Control	
2-3-7. Operation → PPT Switch/Push	
2-3-8. Operation → Media Stream	
2-4. ファイル管理	10
2-4-1. File Management → Albums	
2-4-2. File Management → Videos	
2-5. ユーザー管理	12
2-5-1. User Management → Users	
2-6. アドバンスド設定	13
2-6-1. Advanced Settings → Storage	
2-6-2. Advanced Settings → Serial Port	
2-6-3. Advanced Settings → 3rd Part System	
2-7. システム管理	15
2-7-1. System Management → System Settings	
2-7-2. System Management → System Log	
2-7-3. System Management → About	
3.仕様	16

■使用上のご注意

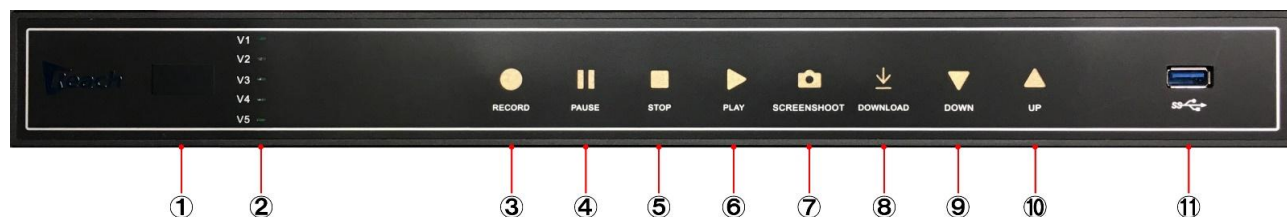
- 本製品ご使用の際には必ず、付属の専用ACアダプタ、専用AC電源コードをご使用下さい。
またAC電源コードはアース接地しているACコンセントに接続して下さい。
- 故障の原因となりますので、本体の通風口は塞がないでください。
- 次の場所には設置および保管をしないで下さい。災害や故障の原因となる場合があります。
 - ・ 強い磁界、静電気が発生するところ
 - ・ 平らでないところ
 - ・ 振動が発生するところ

■外観

【全体図】

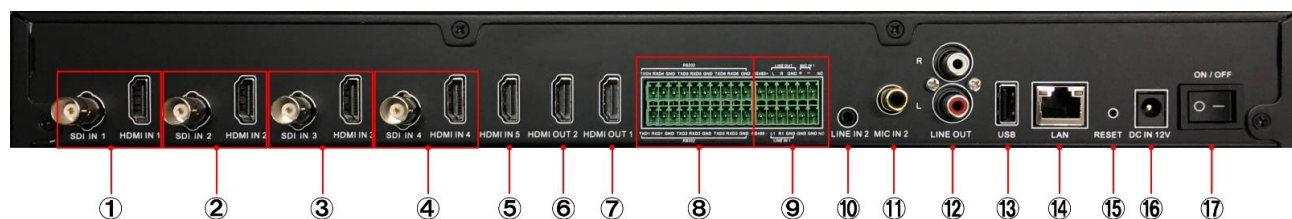


【前面操作部】



1	液晶パネル	システム情報、IPアドレス、ステータスなどが表示されます。
2	V1～V5 LED	映像信号の入力状態を示します。
3	録画	録画を開始します。
4	ポーズ	録画または再生を一時停止/再開します。
5	停止	録画または再生を停止します。
6	再生	収録動画を再生します。 ※フォルダー一覧から下位移行時にも使用
7	スクリーンショット	録画中に押すことで、インデックス情報を記録します。
8	ダウンロード	収録動画を、USB3.0に接続したストレージに書き出します。
9	ダウン	ダウン操作キー
10	アップ	アップ操作キー
11	USB3.0	USB3.0接続端子 (ダウンロード専用)

【背面端子部】



1	SDI IN 1	SDI入力端子1	※ どちらか一方のみ有効
	HDMI IN 1	HDMI入力端子1	
2	SDI IN 2	SDI入力端子2	※ どちらか一方のみ有効
	HDMI IN 2	HDMI入力端子2	
3	SDI IN 3	SDI入力端子3	※ どちらか一方のみ有効
	HDMI IN 3	HDMI入力端子3	
4	SDI IN 4	SDI入力端子4	※ どちらか一方のみ有効
	HDMI IN 4	HDMI入力端子4	
5	HDMI IN 5	HDMI入力端子5 (音声入力可)	
6	HDMI OUT 2	HDMI出力端子2 (操作画面用)	
7	HDMI OUT 1	HDMI出力端子1 (プレビュー用)	
8	RS232 Port	RS232 制御ポート (本体制御用)	
9	Phoenix Port	RS485 (カメラ制御用)/ 音声入出力 (MIC/LINE IN 1, LINE OUT)	
10	LINE IN 2	音声入力端子2 (3.5mm)	
11	MIC IN 2	マイク入力端子2 (RCA)	
12	LINE OUT	音声出力端子 (RCA-L/R)	
13	USB2.0	USB2.0接続端子 (マウス、キーボード接続用)	
14	LAN	Giga-bit イーサネット端子 (RJ-45)	
15	RESET	リセットボタン	
16	DC IN 12V	DC12V接続端子 (専用ACアダプタを接続します)	
17	ON/OFF	電源スイッチ	

1. はじめに

Bee8Plusは、単一画面から5画面合成まで17種類のパターンから任意のレイアウト切り替えを可能とし、録画やライブ配信ができる講義収録システムです。

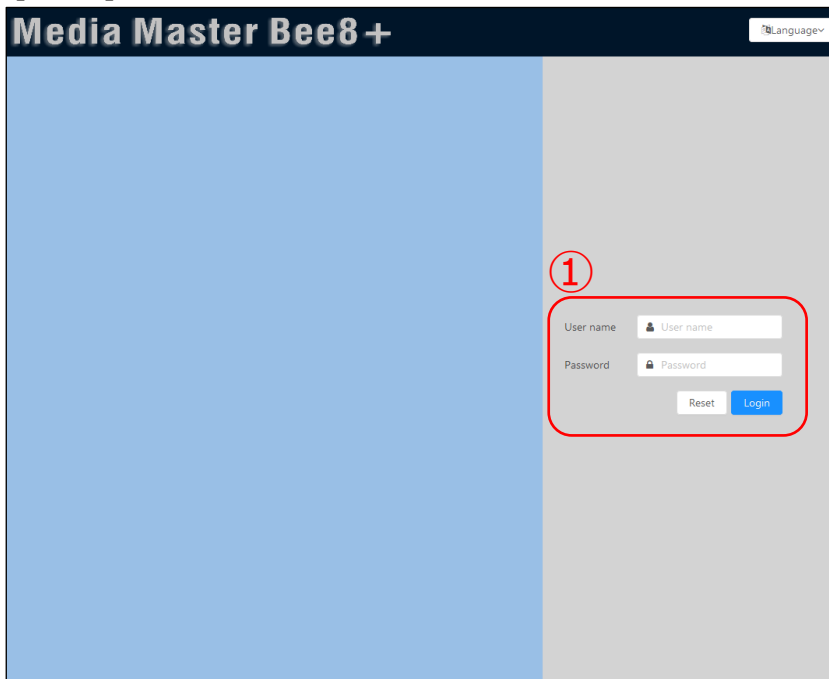
2. ブラウザによる操作

ネットワーク接続により、PCのブラウザ上からBee8Plusの操作と各種設定が可能となります。
使用可能なブラウザは以下の通りです。

- Google Chrome
- Mozilla Firefox
- Microsoft Edge
- Safari

2-1. ログイン

PCから対応ブラウザを起動し、Bee8PlusのIPアドレスをブラウザのアドレスバーに入力して[Enter]キーを押すとログインページが表示されます。



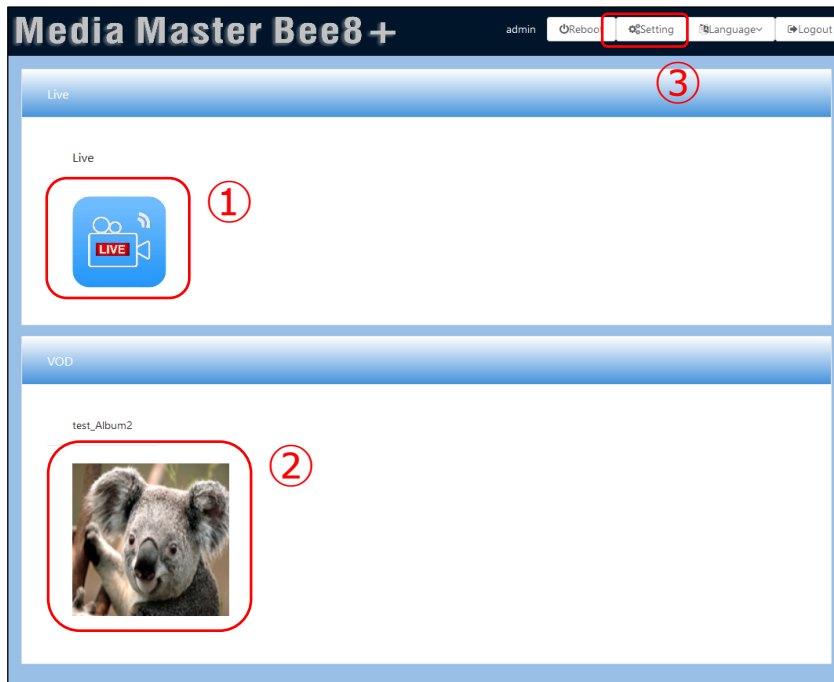
- ① [User name] / [Password] にログインアカウントを入力して [Login] ボタンを押します。

※管理用初期アカウントは [admin] / [admin] となります。

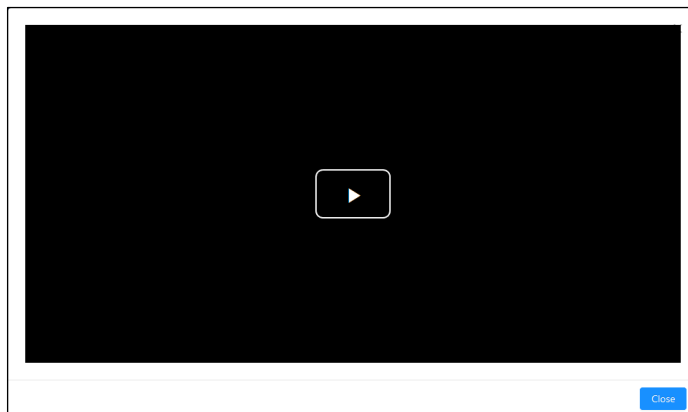
2-2. LiveとVOD

ログイン後に最初に表示される画面です。

公開されているライブとアルバムが表示されます。



- ① HLSストリーミングが実行されているときに、このアイコンが表示されます。
アイコンのクリックで下図のプレビューウィンドウが表示され、[▶] ボタンで視聴できます。
画面に表示される映像は、HDMI出力端子1と同じ映像となります。



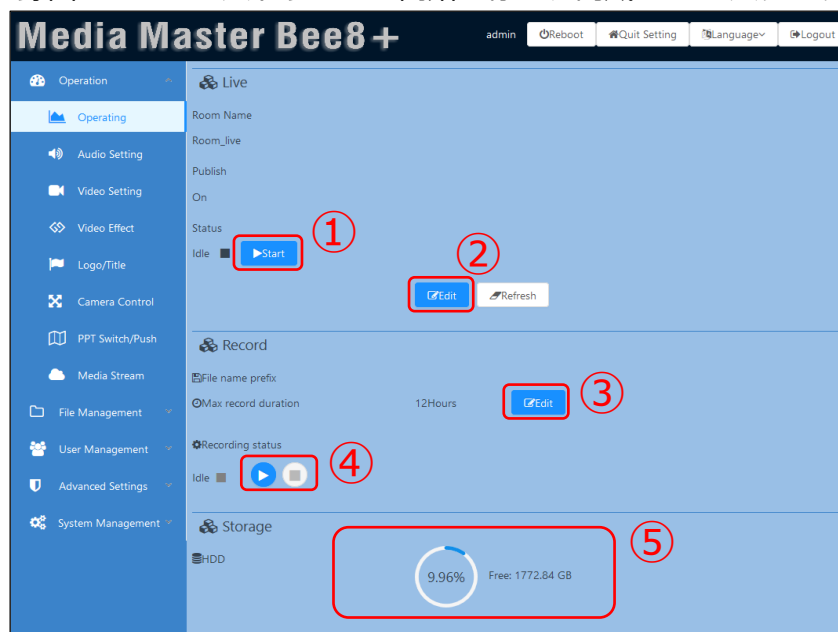
- ② 公開が許可されているアルバムが表示されます。クリックすると動画一覧が表示されます。
③ [Setting] ボタンを押すことで、次項で解説する [設定インターフェース] へ移行します。

2-3. 基本操作と設定 (設定インターフェース)

2-3-1. Operation → Operating

設定インターフェースに移行後、最初に表示される画面です。

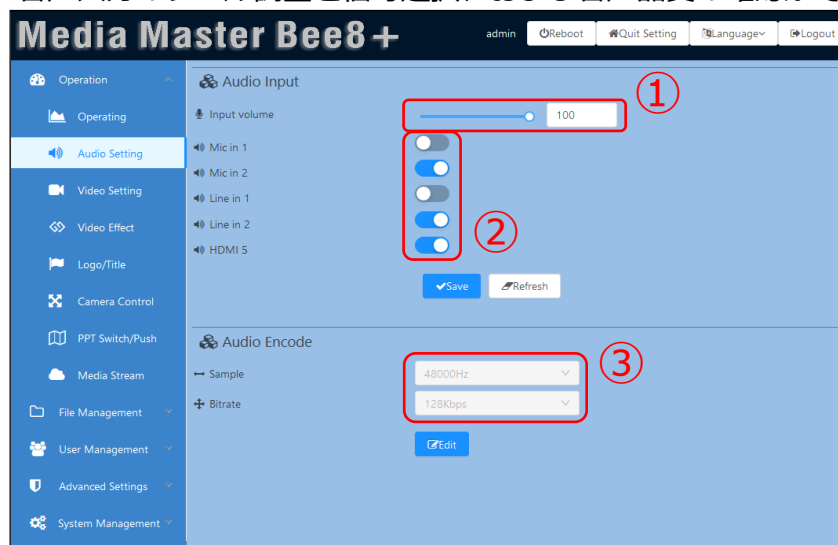
録画およびHLSストリームの開始と停止、内蔵HDDのステータス参照などが行えます。



- ① [▶Start] ボタンでHLSストリームが開始されます。
- ② Liveの [Edit] ボタンで設定画面に移行、ライブ公開(Publish)のON/OFF設定などが可能です。
設定画面では、[Save] で保存、[Refresh] でキャンセルできます。(全操作共通)
- ③ Recordの [Edit] ボタンで、以下の項目の設定が可能です。
File name prefix: 動画ファイル名の冒頭に付ける文字列を指定できます
Max record duration: 最大連続録画時間を指定できます (12時間まで)
- ④ [▶] ボタンで録画を開始、[■] ボタンで録画を停止します。
- ⑤ 内蔵HDDの空き容量が表示されます。

2-3-2. Operation → Audio Setting

音声入力のレベル調整と信号選択、および音声品質の確認ができます。(下図は[Edit]押下後の画面)

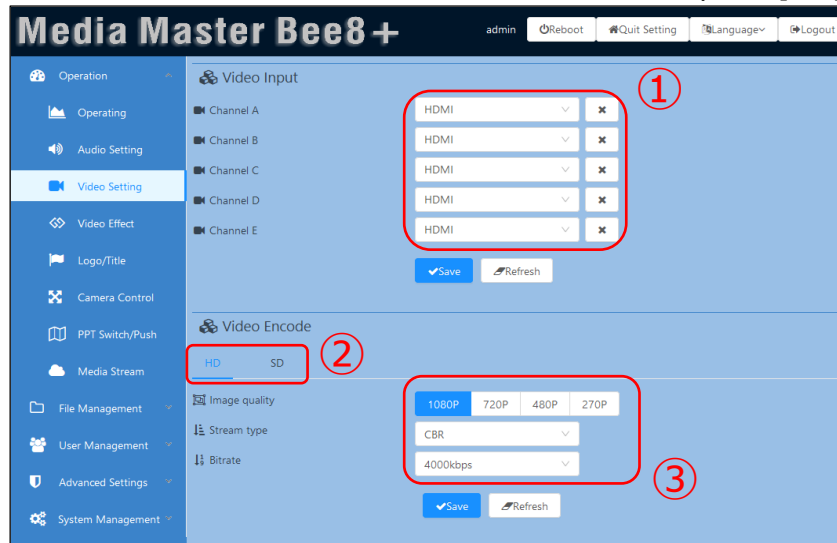


- ① 数値入力またはレベルバー調整で設定可能です。
- ② Mic/Line/HDMIの各スイッチでON/OFF設定が可能です。
ただし、Mic/Lineはそれぞれ入力1/2のどちらかしか選択できません。

- ③ 音声品質設定が表示されます。(固定値)

2-3-3. Operation → Video Setting

映像入力信号の選択と映像品質の設定ができます。(下図は[Edit]押下後の画面)



- ① 各映像入力チャンネルに対し、以下のように設定することが可能です。

Channel A: [HDMI / SDI / WebStream] から選択可能。(HDMI/SDIは入力1に対応)

Channel B: [HDMI / SDI / WebStream] から選択可能。(HDMI/SDIは入力2に対応)

Channel C: [HDMI / SDI / WebStream] から選択可能。(HDMI/SDIは入力3に対応)

Channel D: [HDMI / SDI / WebStream] から選択可能。(HDMI/SDIは入力4に対応)

Channel E: [HDMI / WebStream] から選択可能。(HDMIは入力5に対応)

- ② [HD] または [SD] から、映像品質の設定対象を選択します。

- ③ 上記②で選択した動画の品質を設定します。設定可能な値は次のとおりです。

<HD>

Image quality: [1080P / 720P / 480P / 270P]

Stream type: [CBR / VBR]

Bitrate: [300 / 500 / 700 / 1000 / 2000 / 4000 / 8000 / 16000 (kbps)]

<SD>

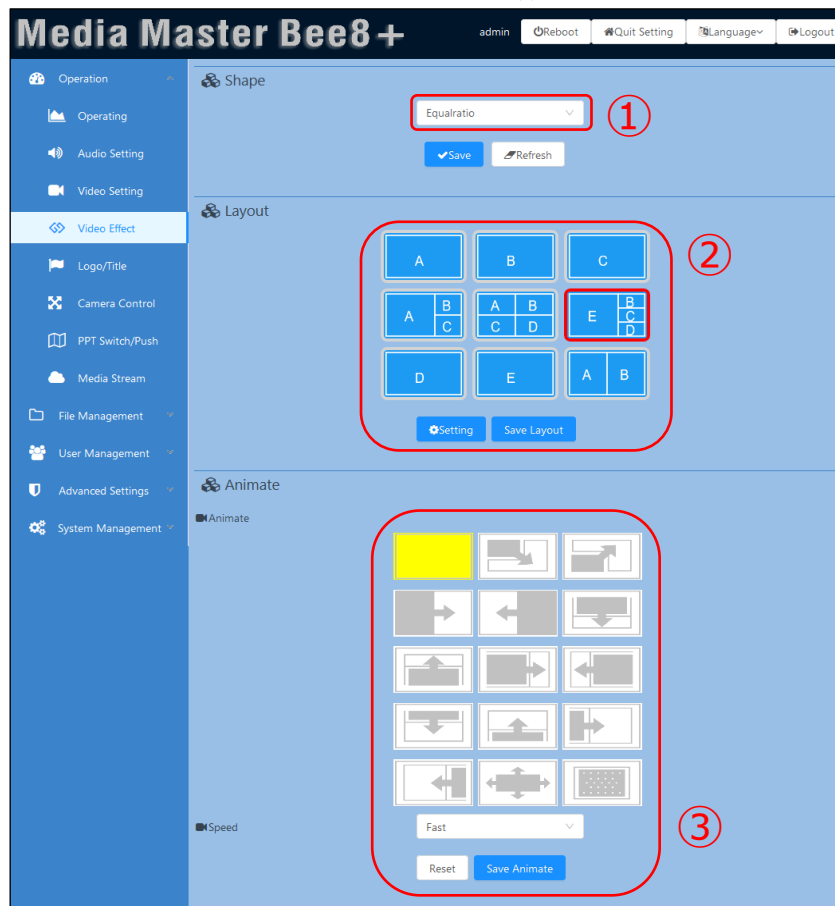
Image quality: [720P / 480P / 270P]

Stream type: [CBR / VBR]

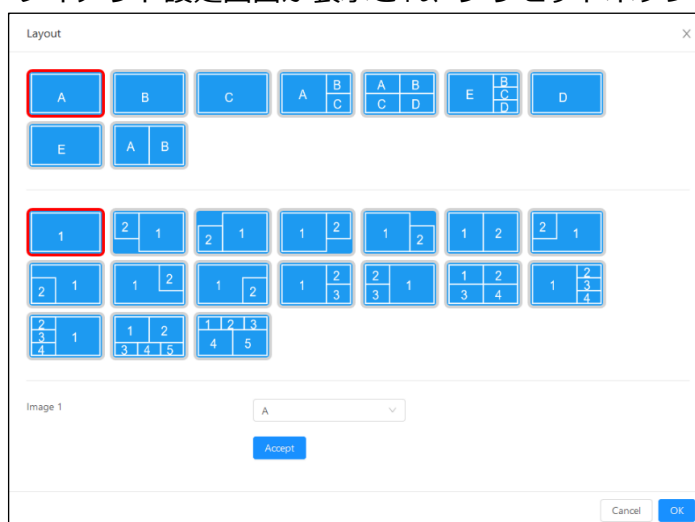
Bitrate: [300 / 500 / 700 / 1000 / 2000 / 4000 (kbps)]

2-3-4. Operation → Video Effect

合成画面レイアウトとアニメーション効果などの設定ができます。(下図は[Edit]押下後の画面)



- ① レイアウト内のアスペクト比を [Stretch] / [Equalratio] から選択します。
- ② 9個のプリセットボタンから任意のレイアウトを選択し、[Save Layout] ボタンを押すとレイアウトが切り替わります。録画中の操作が可能です。また、[Setting] ボタンを押すとレイアウト設定画面が表示され、プリセットボタンの割り当てを変更できます。



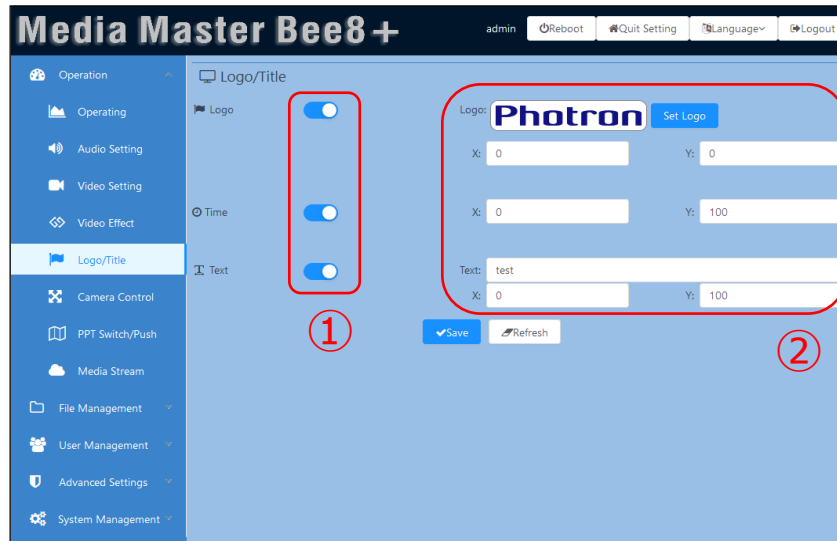
【割当方法】

9個のプリセット(上段)から変更するボタンを選択し、17種類のレイアウト(下段)から希望のものを選択します。
レイアウトごとのImage(1～5)に[Channel A～E] を割り当て、[Accept] ボタンで適用、[OK] ボタンで決定されます。

- ③ レイアウト切り替わり時のアニメーションを選択します。
Animate: 15種類のアニメーションから任意のものをアイコンで選択。
Speed: 切り替わり速度を [Fast / Middle / Slow] から選択可能。
[Save Animate] ボタンで設定を保存します。
[Reset] ボタンを押すと変更がキャンセルされて最後に保存された状態に戻ります。

2-3-5. Operation → Logo/Title

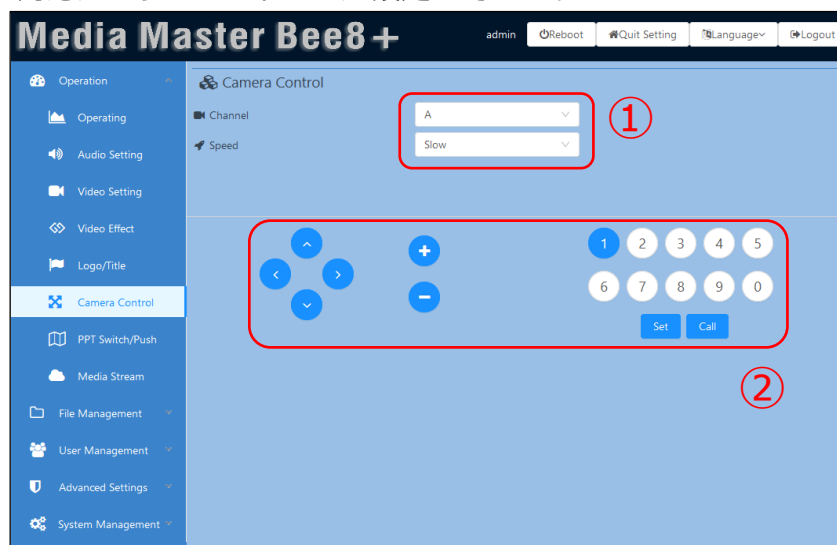
収録動画にロゴ画像、時刻、テキスト文字を入れることができます。(下図は[Edit]押下後の画面)



- ① 各ON/OFFスイッチにより、各機能の有効/無効を設定します。
- ② ロゴ、時刻、テキスト文字の挿入位置は、画面左上を原点とする座標値で指定します。
Logo: [Set Logo] ボタンを押して挿入するロゴ画像を指定します。
Time: 本体の内部時計の時刻が表示されます。
Text: [Text] 欄に挿入する文字列を入力します。

2-3-6. Operation → Camera Control

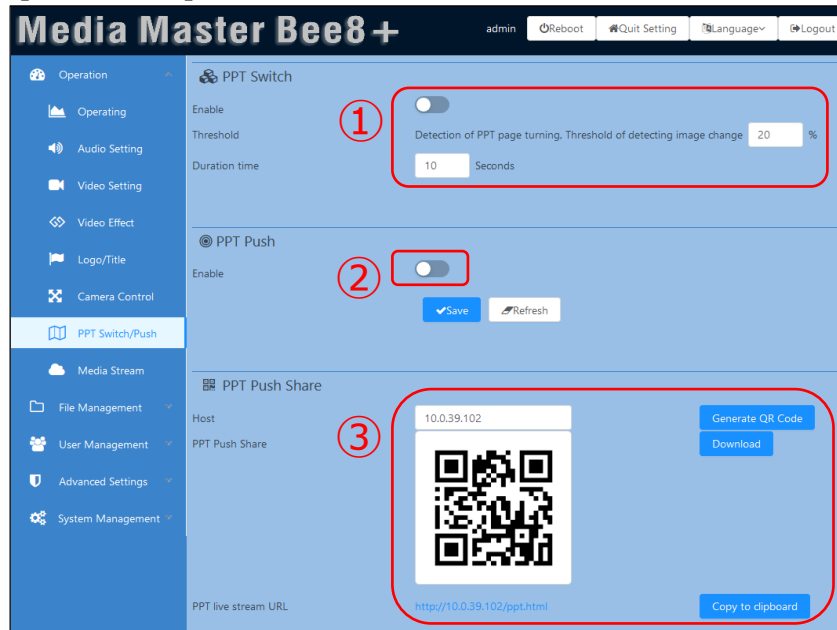
対応カメラのコントロール設定ができます。



- ① 各映像入力チャンネルに対し、以下のように設定することが可能です。
Channel: 制御チャンネルを [A / B / C / D] から選択します。
Speed: 制御速度を [Fast / Middle / Slow] から選択します。
- ② PTZコントロールとプリセット登録/呼出を行います。

2-3-7. Operation → PPT Switch/Push

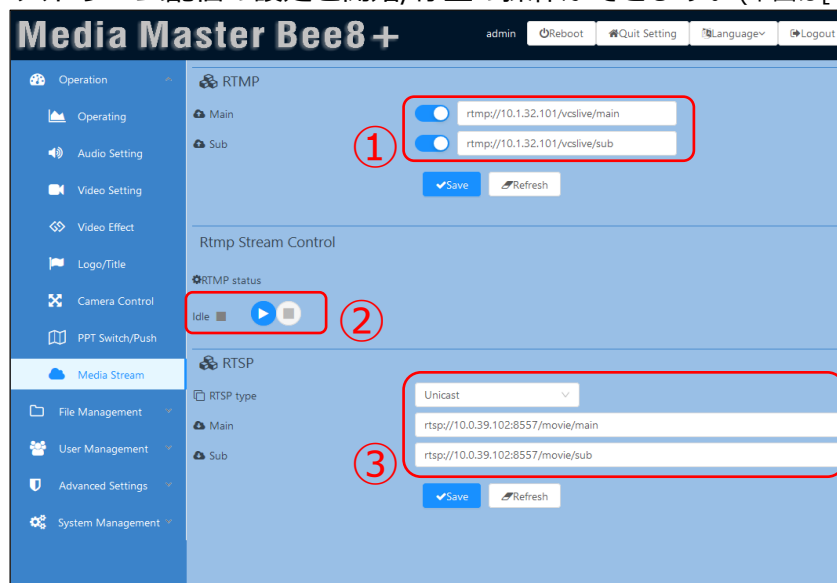
[HDMI IN 5] への入力映像 (PCスライド画を想定) に対する設定です。(下図は[Edit]押下後の画面)



- ① スライド画が切り替わった時に、出力映像が自動的にスライド全画面になる機能です。
Enable: ON/OFFスイッチにより、機能の有効/無効を設定します。
Threshold: 切り替わりを自動判別するためのしきい値(%)を指定します。
Duration time: 全画面表示している時間(秒)を指定します。
- ② Push Push は入力5の映像をキャプチャし、静止画像(5~8秒ごと)で配信する機能です。
ON/OFFスイッチにより、機能の有効/無効を設定します。
- ③ [Generate QR Code] でQRコードが表示され、[Download] で画像として保存できます。
[PPT live stream URL] に配信アクセス先が表示されます。

2-3-8. Operation → Media Stream

ストリーム配信の設定と開始/停止の操作ができます。(下図は[Edit]押下後の画面)



- ① RTMPストリーム [Main / Sub] の各配信先の指定と、ON/OFF設定ができます。
- ② RTMP配信を、[▶] ボタンで開始、[■] ボタンで停止します。
- ③ RTSPストリームの設定を行います。
RTSP type: [Unicast / Multicast] から選択可能。

Main: メインストリームのURLが表示されます。(変更不可)

Sub: サブストリームのURLが表示されます。(変更不可)

2-4. ファイル管理 (設定インターフェース)

2-4-1. File Management → Albums

アルバムの管理画面。既存アルバムが一覧表示され、新規作成、編集、削除ができます。



① [+Add] ボタンを押すと、新規アルバムが作成できます。

②  ボタンで編集、 ボタンで削除することができます。

【新規作成時】

New Album

Name

Cover

Description

Share ☐

【編集時】

Edit Album

Name

Cover 

Description

Share ☒

Name: アルバム名を入力します。

Cover: [Set] ボタンを押してアイコン画像を読み込むことができます。

Description: 説明を記述できます。

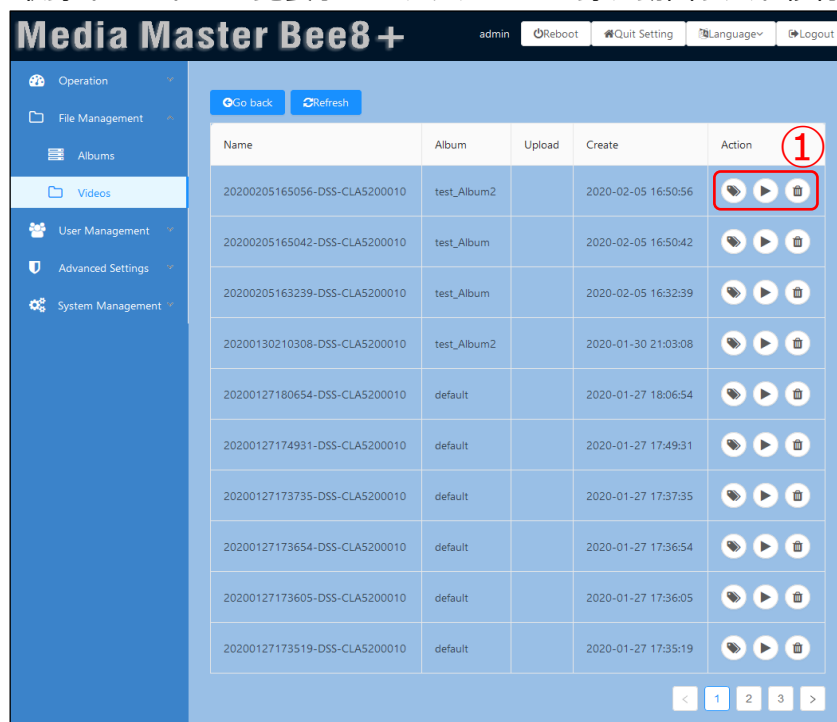
Share: ON/OFFスイッチにより、公開/非公開を設定します。

公開設定の場合、トップページにアルバムアイコンが表示されます。

2-4-2. File Management → Videos

動画の管理画面。

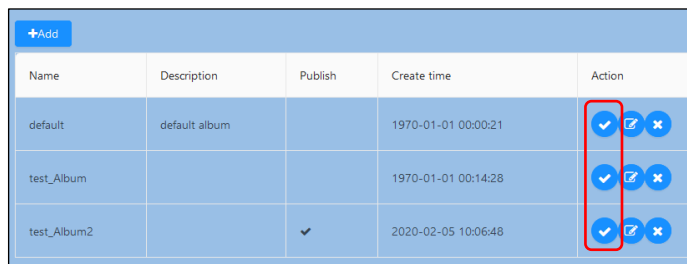
収録イベントが一覧表示され、アルバム登録、動画リスト移行、削除ができます。



① 各ボタンの機能は次のとおりです。

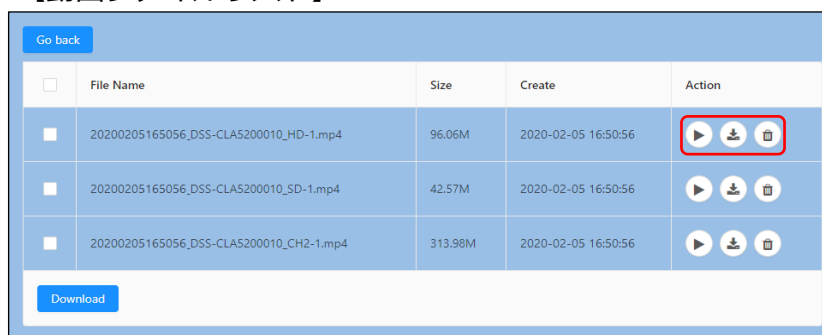
-  : アルバム登録
-  : 動画ファイルリストへの移行
-  : 削除

【アルバム登録画面】



いずれかの  ボタンを押すと収録イベントがそのアルバムに登録されます。

【動画ファイルリスト】



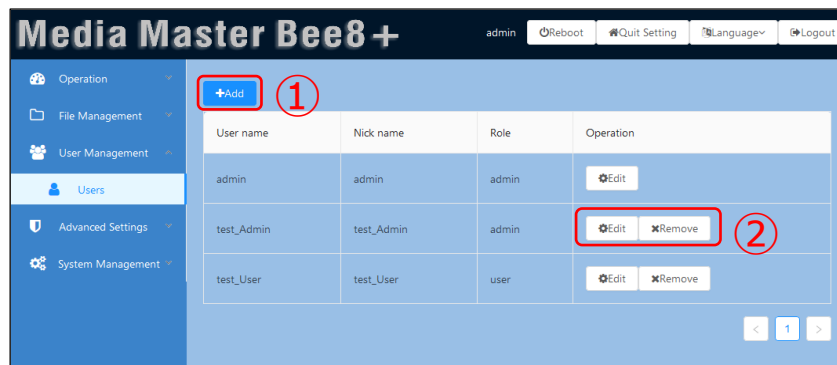
-  : 動画の再生
-  : ダウンロード
-  : 削除

その収録イベントで録画された動画ファイルが表示されます。
チェックボックスに複数チェックして [Download] ボタンを押すと、
まとめてダウンロードすることができます。

2-5. ユーザー管理 (設定インターフェース)

2-5-1. User Management → Users

ユーザーアカウントの管理ができます。



① [+Add] ボタンを押すと、新規ユーザーを作成できます。(下図はUser権限の場合)

Add user

User name

Nick name

Password

Confirm

Role

User

Functions

☐ User manage

☐ Access all recordings

☐ Access my recordings

☐ Setting

☐ Rtmp living

Cancel

OK

User name: ユーザー名を入力します。

Nick name: ニックネームを入力します。

Password: パスワードを入力します。

Confirm: パスワードを再入力します。

Role: 権限を [User / Admin] から選択します。

[User]を選択すると、許可する権限項目が拡張表示されます。

権 限	内 容
User manage	ユーザー管理が可能です。
Access all recordings	全ての動画にアクセスできます。
Access my recordings	自身で収録した動画のみアクセスできます。
Setting	各種設定が可能です。(ユーザー管理、RTMP除く)
Rtmp living	RTMP設定および配信が可能です。

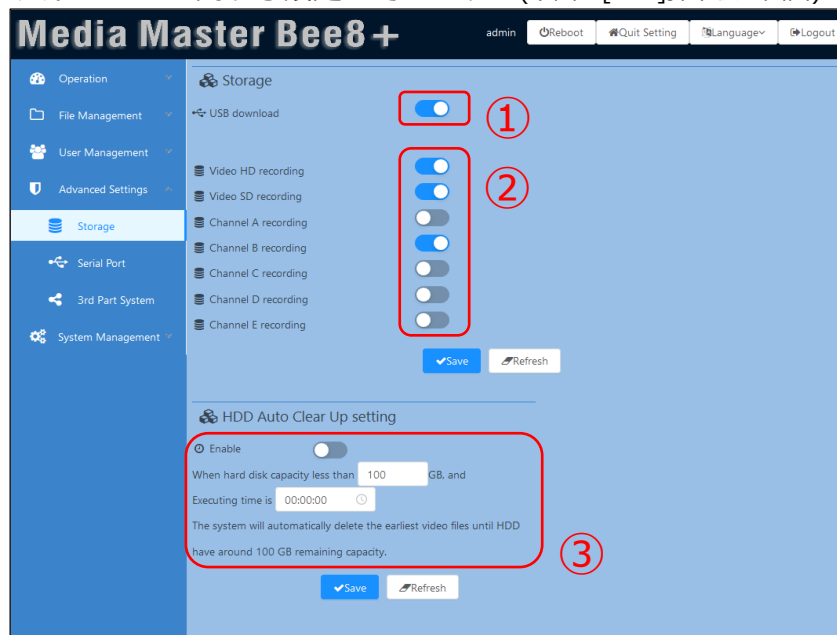
② [Edit] ボタンを押すと、ユーザーの設定情報が編集できます。

[Remove] ボタンを押すと、ユーザーを削除できます。

2-6. アドバンスド設定 (設定インターフェース)

2-6-1. Advanced Settings → Storage

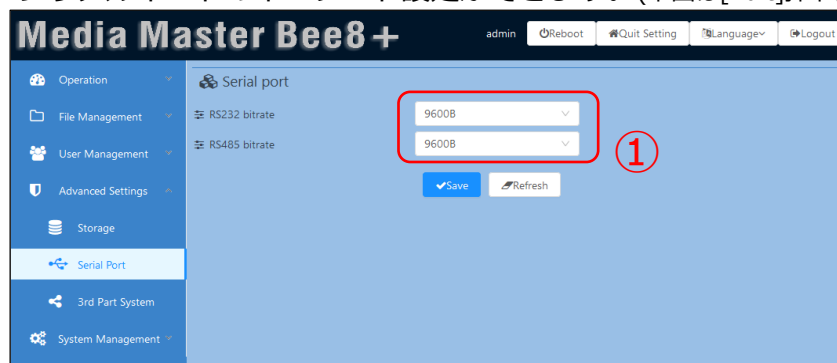
ストレージに関する設定ができます。(下図は[Edit]押下後の画面)



- ① 本体前面USB3.0ポートからの動画ファイルダウンロードの有効/無効を設定します。
Channel A: [HDMI / SDI / WebStream] から選択可能。(HDMI/SDIは入力1に対応)
- ② 各動画に対する録画の有効/無効を設定します。
通常は [Video HD/SD] のみ有効にすることを推奨します。
- ③ 内蔵HDDの自動クリーンアップ機能を設定できます。
機能有効にした場合、ディスク空き容量が指定した [数値(GB)] より少なくなった時に、指定した [時刻] に、古い動画ファイルを自動的に消去します。

2-6-2. Advanced Settings → Serial Port

シリアルポートのボーレート設定ができます。(下図は[Edit]押下後の画面)



- ① 各シリアルポートに次のボーレートを設定できます。
RS232 bitrate: [9600B / 115200B] から選択可能。
RS485 bitrate: [9600B / 115200B] から選択可能。

2-6-3. Advanced Settings → 3rd Part System

収録動画ファイルの転送設定ができます。(下図は[Edit]押下後の画面)

The screenshot shows the 'Media Master Bee8+' web interface. The left sidebar has a menu with '3rd Part System' selected. The main content area is titled 'RSync' and contains a form for configuring file transfer settings. The form includes a toggle for 'Enable', a dropdown for 'Protocol' (set to 'FTP'), text inputs for 'Host' (192.168.1.4), 'Port' (21), 'User name' (admin), and 'Password' (photon), a text input for 'Save path' (/video), a dropdown for 'Video upload mode' (set to 'Full mode'), and an 'Upload schedule' section with a toggle and a time range (00:00:00 to 23:59:59). A red circle highlights the form fields, and a red circle with the number '1' is in the bottom right corner.

① 各設定項目は次のとおりです。

Enable: ON/OFFスイッチにより、機能の有効/無効を設定します。

Protocol: [FTP / SFTP] から選択可能。

Host: 転送サーバーのIPアドレスを入力します。

Port: 転送ポート番号を入力します。

User name: 転送サーバーでの認証アカウントのユーザー名を入力します。

Password: 転送サーバーでの認証アカウントのパスワードを入力します。

Save path: 転送保存先のフルパスを入力します。

Video upload mode: [Full mode / Upload folder and MP4 files / Only upload MP4 files]

Upload schedule: 有効/無効の設定と、[開始時刻]～[終了時刻] を設定します。

有効の場合、開始時刻になると転送が実行されます。

無効の場合、録画停止のタイミングで転送が実行されます。

※ 一度も転送されたことがない動画ファイルが存在した場合、
下記すべての条件を満たした時点で、即時にファイル転送が実行されます。

- ・ 転送機能が有効設定
- ・ 転送サーバーとの接続が可能 (認証アカウント、転送先パスが有効状態)
- ・ アップロードスケジュールが無効設定

2-7. システム管理 (設定インターフェース)

2-7-1. System Management → System Settings

ネットワーク設定と時刻設定ができます。(下図は[Edit]押下後の画面)

- ① DHCP機能の有効/無効(ON/OFF)を設定します。
- ② ネットワーク関連の設定値を入力します。
- ③ [Sync with local]ボタンを押すことで、Bee8Plusの内部時刻がPCの時刻に同期します。

2-7-2. System Management → System Log

操作ログを確認することができます。

User	Source	Description	Time
admin	Web	save setting setting_datetime	2020-02-03 11:27:05
admin	Web	stop rtmp	2020-02-03 11:06:13
admin	Web	stop rtmp	2020-02-03 11:06:12
admin	Web	start rtmp	2020-02-03 11:05:03
admin	Web	start rtmp	2020-02-03 11:05:02
admin	Web	set osd text enable: test	2020-02-03 10:49:28
admin	Web	set osd time enable	2020-02-03 10:49:27
admin	Web	set osd logo enable	2020-02-03 10:49:27
admin	Web	save setting setting_osd	2020-02-03 10:49:27
admin	Web	set osd text enable: test	2020-02-03 10:49:20

2-7-3. System Management → About

システム情報の確認ができます。

Item	Value
System version	S5.20.011481
Software version	2.0.28
Web version	1.0.0.26
Product name	Media Master
Model	A5200
Serial number	DSS-CLAS200010
Copy-right	SZ Reach TECH CO.,LTD

3. 仕様

製品名	Bee8Plus
内蔵ストレージ	2TB HDD ※標準仕様
映像入力	HDMI × 5, SDI × 4 (同時有効入力数は5)
映像出力	HDMI (プレビュー用) × 1, HDMI (操作画面用) × 1
音声入力	Mic × 1 (Phoenix または RCA), Line × 1 (Phoenix または 3.5mm), HDMI (IN 5) × 1
音声出力	Line × 1 (RCA-L/R), HDMI × 1
USBポート	USB3.0 (ダウンロード用) × 1, USB2.0 (マウスキーボード用) × 1
ネットワーク	Giga-bit イーサネット × 1 (RJ-45)
シリアルポート	RS232 (本体制御用), RS485 (カメラ制御用)
電源	DC12V / 5A (専用ACアダプタを使用)
外寸	W430mm × D335mm × H44.5mm
重量	10.0kg
動作環境温度	-20℃ ～ 60℃

収録映像

最大解像度	1920 × 1080 @60
エンコード	H.264 High Profile
ビットレート	300kbps ～ 16Mbps

収録音声

エンコード	AAC
ビットレート	128kbps
サンプリング周波数	48kHz

※システムバージョンアップにより仕様が変更される場合があります。

管理番号：UM19-B8P-01-003-03

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング21階

株式会社フォトロン

映像システム事業本部 営業部 第三グループ

TEL:03-3518-6274 FAX:03-3518-6279

【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～12:00 13:00～17:00

(夏期・年末年始特定休業日、祝祭日は除く)

e-mail: sol-support@photron.co.jp

Photron